

2024 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	和歌山県立熊野高等学校 Kumano サポーターズリーダー部
活動テーマ	すべての命を救うプロジェクト ～AED シートの開発・普及活動～



平成 23 年、台風 12 号による「紀伊半島大水害」では、死者 56 名・行方不明者 5 名という甚大な被害に合い、当時 3 年生だった仲間が裏山の深層崩壊により亡くなった。毎年災害が発生した日には全校生徒で黙祷を行っている。生徒の仲間の死を無駄にしないために、この災害の教訓を生かそうと Kumano サポーターズリーダーが『地域に根ざし、地域に貢献する高校生リーダー』をモットーに 12 年前から防災学習をテーマに様々な活動を始めた。地域の高齢者・学童・障がい者など災害時要援護者となりうる人々と普段から積極的に触れ合い、絆作りを行っている。南海トラフ巨大地震が 30 年以内に発生する確率は 70～80%、和歌山県の死者は 8 万人と予想されている。1 人でも多くの命を救う活動を日々模索する中、AED 使用時における男女の使用率の違いに着目し、このジェンダーギャップを無くそうと『AED ハートフルシート』の開発・普及活動を行っている。

ボランティア活動では、他世代に関心を持ち、思いやり、いたわる感性を養うことで意欲的に活動に取り組んでいる。現場の方々と交流することで、社会的職業的自立の基盤に身近に触れ、自己のキャリア発達にも繋がっている。AED シートの製作では、裁縫の基礎的技術を商品開発に生かすことで、自信や誇り、意欲の向上に繋がった。ヒアリング・配布活動では多くの世代の方々と関わることで、社会性やコミュニケーション力が身に付いた。